

1

1 等しい
2 放った
3 暗号

2

4 屋根
5 消火
6 悪用

2

1 ウ
2 ピンポン

3 運動
I
II
4 A ア
B エ
5 イ

6 I せ
II もう
7 母ちゃん

8 お母ちゃん
I
II
9 めづらしく

3

1 I ウ
II 原人か

2 直接の祖先
3 A イ
B エ
C ア

4 石器言葉
5 ウ

6 ア 2
イ 1
ウ 2

配点
1 各2点×6=12点
2・3 各4点×22=88点
〈計〉100点

1

- 1 「たけかんむり」の形に気をつけよう。「寺」の部分の五画目の「はねぼう」が、二画目の「たてぼう」とあわせて一画で書いているように見えてはいけない。
- 2 左側の「方」、右側の「のぶん」ともに三画で書かないようにする。
- 3 「号」の五画目の形に気をつけたい。
- 4 「家根」と書いてしまわないように気をつけたい。
- 5 「消化」と書いてはいけない。問題をよく読み、意味を考えて答えること。
- 6 「悪」の上の部分は「垂」である。「用」のたてぼうは下までつらぬく。

2

- 1 直後の内容から早く学校から出たいというマイナスの気持ちを読みとれる。イ「はしる」は①にあてはめた時に意味がつかない。エ「ころぶ」になるような孝太の様子には本文からは読みとれない。
- 2 「ピンポン」はクイズなどで正解のときに鳴る音から、「正解であること」という意味がある。
- 3 直後に「母ちゃんのこと気になって、力を出せなかったんだろ」と亮介に言われて「どきっとし」ていることから考える。お母さんが病気で運動会にこれなかったから力を出せず、クラスの人々にいわくをかけたということでははかしく言いだせなかったのである。また後で亮介に自分の心の中にある気持ちをすなおに話していることから考えられる。ただし「力を出せなかった」では字数があわないので「力が出なかった」を答える。
- 4 A しずんだ気持ちになっているところに、亮介のことばを聞いてお母さんを元気づけることができることを思いつき、明るい気持ちに変わったのである。ウ「ピカッと」は一度だけ瞬間的に光る様子である。
B 直前に「また」とあるので、ここより前で亮介がわらっているところを見ると、——線⑤がある文の直後に「ニヤニヤ」があるし、その前にも「ニヤツと」がある。
- 5 「ふさわしくないもの」を選ぶことに注意する。力が出せなくてクラスの人々にいわくをかけ、またお母さんを元気にしあげることができなかったことからくる気持ちにあわないものを選ぶ。
- 6 I 「こりや、われながらナイスアイデアだ」とあるので「ナイスアイデア」はここより前に書いてあると見当をつけてさぐすと「見せてやるうぜ、おまえの母ちゃんに。おれたちのせいぎのたいけつ！」とある。
II 「せいぎのたいけつ」とは具体的に何をすることなのかを考える。「たいけつ」なのだから「レース」に注目してほしい。
- 7 「母」という意味の言葉が入ることはわかるだろう。問題は「お母さん」ではなく「母ちゃん」が答えになるということである。ここは亮介の言葉なので「母ちゃん」になる。
- 8 直後の孝太の言動から考える。亮介からふたりでもう一度、レースをやるんだよ」と言われても、病院にいるお母さんに見てもらえなければやる意味がないので、「よくわか」らなかったのであるが、病院のとなりにある公園なら「お母さんの病室からよく見える」し、「ちゃんと走れる」広さもあると考えたのである。
- 9 問題を見てあらためてさがすと時間的にもきびしい。はじめに「文章中にはかなづかいのあやまりが一字あります」とあるので、通読時に気をつけながら読んでほしい。答えの「めづらしく」は——線④の後にある。正しくは「めづらしく」である。

3

- 1 問いかけの表現はその文章の話題になっていることが多いので、その答えをさがしつつ読み進めていこう。
I (B)の後に「人間は今から二十万年前に、原人から進化してアフリカに生まれた、と書いていい」とある。
II これもIの答えと同じところに書いている。(B)の後に「生まれた」も手がかりにして答えよう。
- 2 「猿人は……人間の②ではない」という内容の文であるが、この後、猿人が原人に進化していった話があり、続けて(A)の後に「原人も私たちの直接の祖先ではない」とあるので対応させてみると答えがわかる。
- 3 A 猿人が人間の祖先ではないという話の後で、次に出現したより今の人間に近い原人について述べていて、こちらが人間の祖先かと思わせるのだが、(A)の後で「原人も私たちの直接の祖先ではない」とあるので、イ「だが」がはいる。
B (B)の前の内容を根拠として、後の意見を述べていることから、エ「だから」がはいる。
C 前の段落で新人について書かれており、(C)ではじまる段落でも引き続き新人について述べているので、ア「そして」がはいる。
- 4 一つ前の段落に「石器を作り、言葉をしやべる新人は、どんどん発展していったのだ」とある。
- 5 本文に題をつける場合は、その文章の要旨や話題になることが多い。本文では冒頭の一文が話題を示している。また最後の文でも「人間の歴史はそういうふうにはじまったのだ」とあることから、ウ「人間ののはじまり」がもっともよい。
- 6 ア (C)ではじまる段落では「新人は、先にアフリカを出た原人とはまじわらなかっただろう、といわれている」とあるのであわない。
イ (B)がある段落に書かれている内容とあう。
ウ (A)がある段落に書かれている内容とくらべてみると「原人」と「猿人」が逆である。